

読売KODOMO新聞

みんなで考えよう

よみうりこども みんなでかんがえようしんぶん

企画・制作
読売新聞社イノベーション本部

広告特集

2026年
(令和8年) 10月22日

保存版

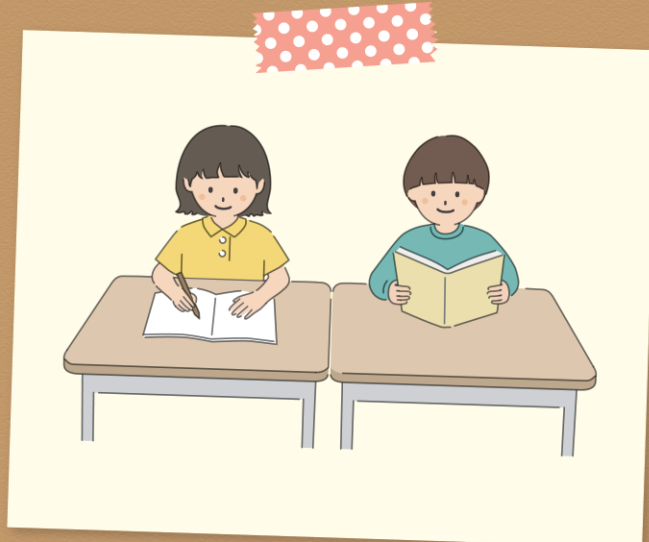
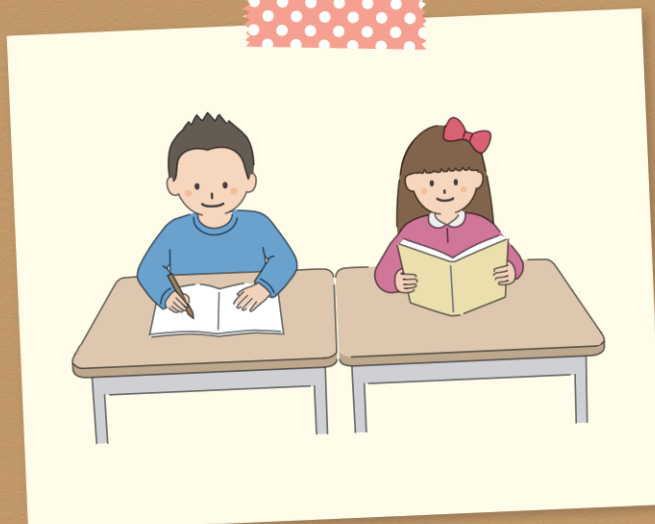
上下の絵の違いは何だろう？

あなたはクラスの中で新聞を作る係になりました。

授業や休み時間の様子を伝えるイラストを考えていると、先生が参考になるイラストを見せてくれました。比べてみて何か感じたでしょうか。



イラストを上下で見比べると
似ているようでちょっと違うよ。
何か違いに気づくかな？



東京都

性別で決めつけてないか、考えよう

新聞にのせるイラストを選ぶならどちらかな? 色々なパターンについて考えよう。

みなさんへのメッセージ

かみせ ゆみこ・人に対する固定化されたイメージ(ステレオタイプ)が、どのように作られているのかを研究しています。

あるグループに所属する人を「このグループは全員がこうだよ」と決めつけたイメージのことを「ステレオタイプ」と呼びます。「男の子だからスポーツが得意だよ」「など決めつけないようにしましょう。全員が同じではありません。一人ひとりの個性をよく見るようにしてください。みなさんが「性別で決めつけないように」し続けることで、社会が変わっていくのです。



立正大学心理学部
教授
上瀬由美子さん

一人ひとりの個性を大切に

やじま ようこ・少子高齢化や男女共同参画の視点から、ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティ・マネジメントなどを研究しています。

現代は「お父さん(男)だから仕事をする」「お母さん(女)だから家事をする」と決められることがなくなり、それぞれの考えで、父も母もどちらも働く、どちらか一方が働くことを選べる時代になりました。いろいろな家庭があり、よいのです。皆さんが高校生になるころには、進学や就職を考える時、性別にかかわらず仕事や学ぶことを選べる社会になっているはずです。



三菱UFJリサーチ&
コンサルティング
矢島洋子さん

勉強も仕事も男女差はありません

なかむら ゆたか・文化人類学者として、見えにくい暴力をテーマに研究しています。そして、研究成果をもとにデザイン会社を経営しています。

人間は経験から学ぶ生き物なので、どうしても「思い込み」を持ってしまう。そして、平等ではない社会の中で学ぶので「偏見」も身につけます。誰もが「偏見」を持つので、お互いの偏りを健全に指摘しあえる関係を築けるのが理想です。「違い」を認め、偏見による苦しみを減らしていく方が、一人ひとりの人生も社会全体も今より豊かになるはずです。



多摩美術大学教授
中村寛さん

「違い」を認めて豊かな人生を

もりや とまか・一人ひとりがイキイキとする社会に「一歩でも、二歩でも近づけることを願って、アンコンシャスバイアス研究所の代表理事を務めています。

みんなに知ってほしい大切なことや、新しいお知らせをする「新聞などの広報物」には、たくさんの方の目にふれ、社会に向けたメッセージを伝える役割があります。こんなことをしてみたい「こんな未来もありそう」と、誰もが自分の可能性を自由に思い描けるように、新聞などの広報物の表現を見つめ直す取り組みが、そんな社会につながっていくことを願っています。



一般社団法人アンコンシャスバイアス
研究所代表理事
守屋智敬さん

表現を見つめ直し可能性ある未来に

男女平等参画の視点に基づく
公的広報物ガイドライン



東京都男女平等参画
推進総合計画



東京都の取組

「男だから」「女だから」と決めつけることなく、一人ひとりが自分の好きなことや得意なことを活かしながら、自分らしく生きられるように、東京都では、様々な取組を行っています。その取組の一つに「男女平等参画の視点に基づいた公的広報物ガイドライン」があります。チラシなどの広報物を作る際に「性別に関する固定的なイメージを与えていないか」など、適切な表現になっているかを確認するものです。この新聞で、みなさんに紹介したイラストも掲載されていますので、確認してみてください。みなさんが互いの違いを大切に、それぞれの夢や目標に向かってチャレンジできる東京を目指しています。男女ともに自分らしく生きられる東京へ。あなたらしい未来への歩みを東京都がこれからも応援します。

将来なりたい職業のイラスト①

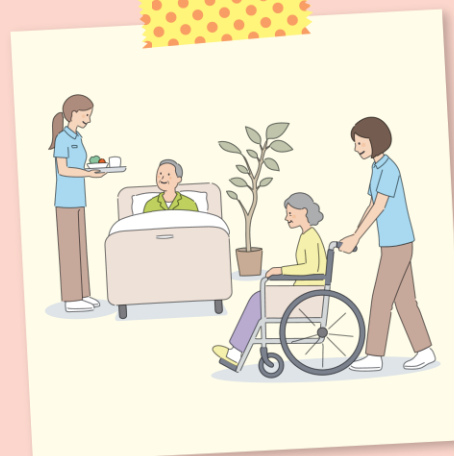


将来は会社で働きたいな。でも会社ってどんなところだろう。あれ? 男の人しかいない。でも女の人も働いているよね? どっちがいいかな?

仕事や役割、性別で決めつけないで

社員のイメージをイラストにしています。左のイラストには、男の人しか描かれていないことに気が付きましたか。「仕事は男の人がすること」というように、性別によって役割を決めつけないことが大切です。

将来なりたい職業のイラスト②



僕のお父さんは介護士で、男の人も女の人も介護の現場で働いていると聞いたことがあるよ。なのに、なぜ左のイラストは女の人だけが介護しているんだろう?

職場のイメージに偏りがないかな

おじいさん、おばあさんのお世話をする職場を描いたイラストです。左のイラストでは、働いている人全員が女の人であることに気が付きましたか。しかし、介護の仕事をするのは女の人だけではありません。職業によって性別を決めつけないようなイラストの選択が大切です。

授業中・休み時間のイラスト



私は黄色が好きだし、身長も男の子より大きい。男の子も女の子も、好きな色や髪型は様々だよ。

好きな色や髪型に性別は関係ないよ

性別に関係なく、一人ひとり好きな色も身長も違います。「男の子だから、女の子だから」と決めつけず、さまざまな姿を描いてみてください。髪型も服の色も体格も、人の数だけ違いがあります。

理科の実験のイラスト



左のイラストには男の子しか描かれていないけれど、理科の実験は女の子も参加していたから変な感じ。

人を描かない選択肢もあるかも

「実験」を表すだけであれば、人物を描かなくても伝えたい内容が伝えられる場合もあります。もちろん、実験の思い出を描きたい場合は、男女が一緒に実験している様子を描いても良いかもしれませんね。



▲日本科学未来館(東京都江東区青海)で開かれたイベントには、小学生と保護者など計550人が参加しました

東京都が アンコンシャス・バイアスに 関するイベントを 開催しました!

アンコンシャス・バイアス(略して「アンコン」とは、「何かに対して無意識にこうだと思い込むこと」です。東京都では、アンコンに気づき、子どもたちの可能性を広げようと、8月5日にアンコンシャスバイアス研究所と一緒に、「ハットニヤール博士の研究所2026」を開催しました。

このイベントでは、「あれ? 本当にそうなのかな?」と一度立ち止まって考えられるようなワークショップなどを実施しました。参加した子供たちがイベントを通じて新しいものの見方を学びました。皆さんの周りにも「これってアンコン?」と思うことはありませんか。

▶「桃太郎」の物語を思い返したうえで、「本当に、めでたし、めでたしだったのか?」「子鬼の立場で考えるとどう見えるか」を話し合い、相手の立場でものを見ることの大切さを学びました。



▶エアロケット飛ばしに挑戦! 性別、体格などに関係なく、遠くに飛ばせるようになる体験をしました。「これ以上は無理」と思いこまず、挑戦することの大切さを学びました。



無意識に
思い込んで
いないかな?

参加した小学生の声

- ・自分が思ったことと、相手の思っていることは、必ず一緒とはかぎらないと気づけた。
- ・お友だちにあわせないと、と思っていたけど、自分の意見も言おうと思った。



作者: ヒトミ(13才・北海道)

◀会場では、アンコンをテーマに、全国の小中学生が作成した「かるた」が展示されました。かるたを通じて、自身のアンコンに気づいたエピソードなどを語り合うことで、相手や自分に対するものの見方を見直す大切さを学びました。



東京都は「キッズニア東京(江東区豊洲)」で9月18〜24日、「アンコンシャス・バイアスウィーク」を開催しました。

無意識の思い込みに気づいてもらうイベントで、読売KODOMO新聞の読者である、小学5年生の小野寺ルナさんと志村睦海さん、小学3年生の船木俊克さんが参加しました。3人はキッズニア内を探索し、親子でクイズラリーに参加しました。「男の子はみんな、サッカーが得意」というパネルの文章を見て、自分にそのような無意識の思い込みがないかを考えました。

3つのクイズに答えていくと、「自分はいつの間にか、

こんなふうに決めつけていたかも?」と気づくことができました。続くワークショップでは、「無意識の思い込み」について話し合い、性別などを理由に「できない」と決めつけないことの大切さを学びました。その後、グループで「どうせリレーの選手にはなれない」と話す人にどのような言葉をかけるかを考え、「頑張ればできるかもしれないよ」といった声がありました。最後に、将来なりたい自分について考えて、カードに書き込みました。

3人は、自分のふるまいを振り返り、「初めから決めつけないことが大切」「無意識に思い込んでいたことに気づいた」など話しました。



読者がキッズニアで「アンコン」体験